

中央教育審議会 初等中等教育分科会 国語ワーキンググループ[○] ～すべての子どもに話す力を～



竹内 明日香



法学部政治 → 銀行 → 独立 → 海外プレゼン大会 → 社団設立・社外取締役3社・3児の母

幼小中高大へ



全国で教員研修・授業

北海道 森町 文京区 BUNKYO CITY 富山市 市原市 ICHIHARA CITY 金沢市 Kanazawa City 江東区 KOTO City in TOKYO スポーツと人情が熱いまち 所沢市 学校法人 須賀学園 宇都宮短期大学附属高等学校 UTSUNOMIYA JUNIOR COLLEGE ATTACHED HIGH SCHOOL 江戸川区立 瑞江第二中学校 文京区立文林中学校 四日市市立中部中学校 葛飾区立 川端小学校 KAWARATA ELEMENTARY SCHOOL 橋本市立高野口中学校 東京学芸大学附属世田谷中学校 福岡教育大学附属久留米小学校 都立白鷗高等学校・附属中学校 国立大学法人福井大学教育学部附属 義務教育学校 東京農業大学 Anniversary 創立125年 TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE FOUNDED IN 1891 東京都立新宿高等学校 戸田市 東京都立小日向台町小学校 豊島区立南池袋小学校 MINAMITKEBUKURO ELEMENTARY school 墨田区立 本所中学校 東京都立高島高等学校 稲城市立稲城第三中学校 文京区立 関口台町小学校 東京経済大学体育会サッカー部 東京都立武蔵高等学校 東京都立武蔵野高等学校 東京都立小岩高等学校 東京都立小石川中等教育学校 お茶の水女子大学 Ochanomizu University 長浜市 NAGAHAMA 東京都立杉並高等学校 Tokyo Metropolitan Sugunami Senior High School 学習院女子中・高等科 Gakushuin Girls' Junior & Senior High School 大妻中野中学校・高等学校 Otsuuma Nakanonohara Junior & Senior High School あきる野市立御堂中学校 松戸市立 第二中学校 DAINI JUNIOR HIGH SCHOOL 椛山女学園大学附属幼稚園 墨田区立緑小学校 墨田区立第三寺島小学校 兵庫県立教育研修所 Hyogo Prefectural Institute for Educational Research and In-Service Training SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY 昭和女子大学 全国高等学校家庭クラブ連盟 Future Homemakers of Japan

のべ73,560人

AGENDA

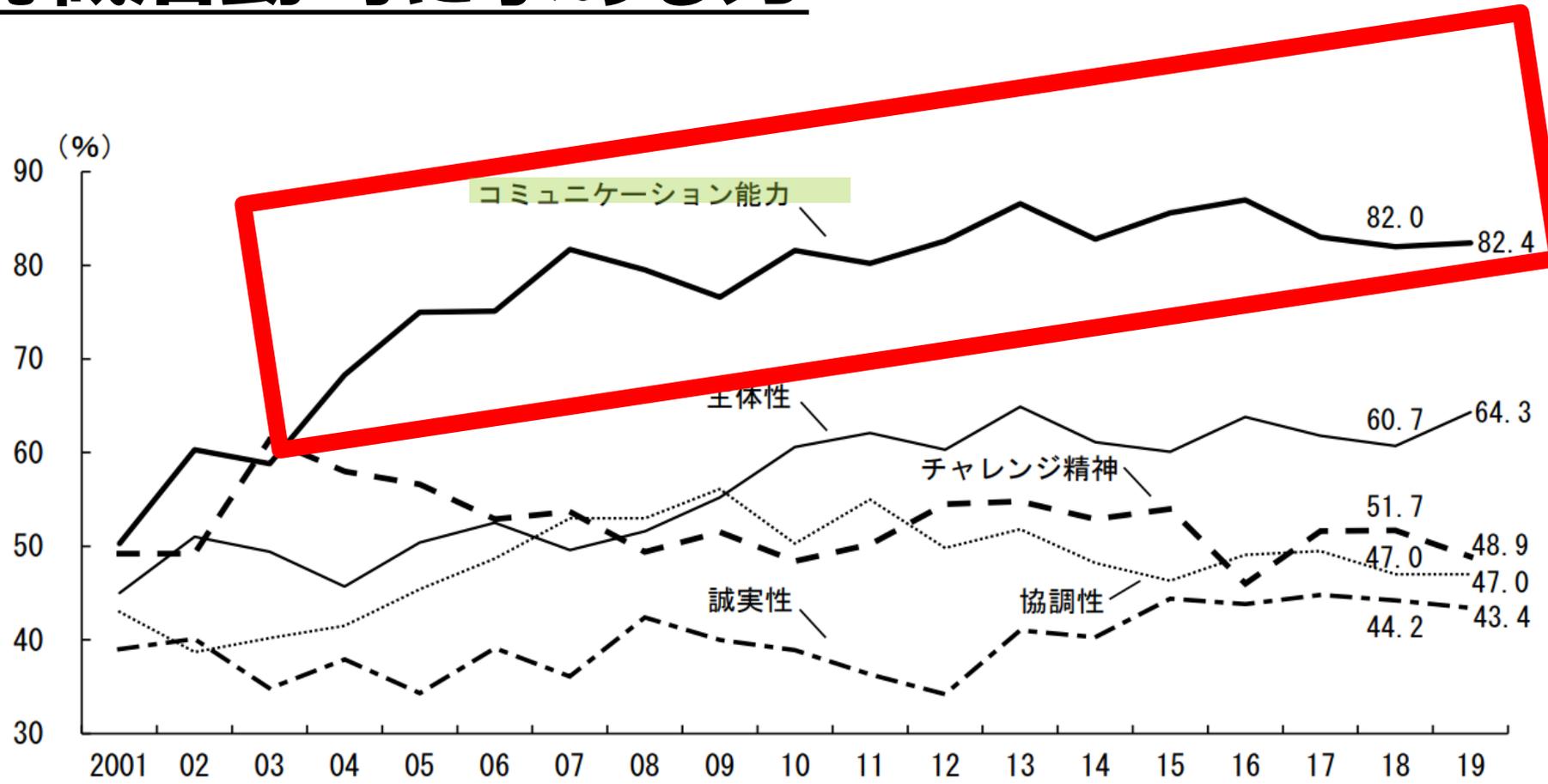
～本日の内容～

1. WHY なぜ「話す力」か

2. WHAT つまづきと実践の効果

3. HOW 指導要領へ

就職活動時に求める力



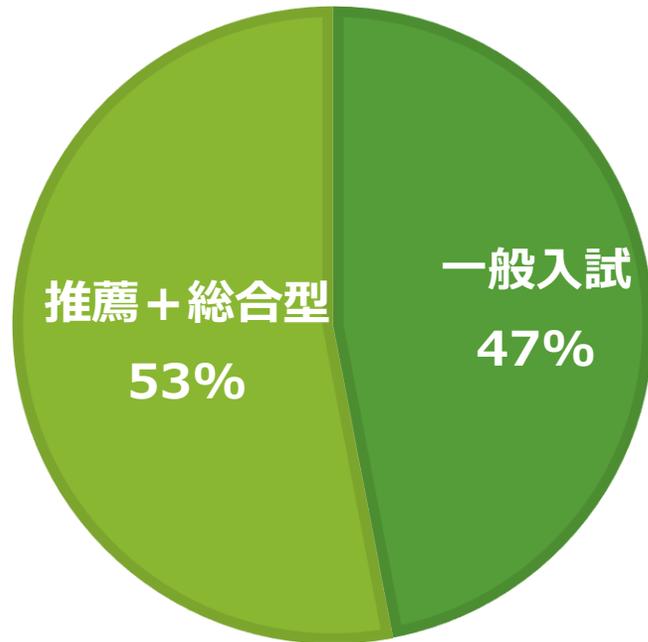
エントリーシートをやめる動きも

出典：「2019 年度 新卒採用に関するアンケート調査結果」日本経団連
www.keidanren.or.jp/policy/2018/110.pdf

(最新の数値についてはこちらを参照) <https://jinjibu.jp/article/detl/hakusho/3793/>

入試の変化

【大学】推薦＋総合型が増加



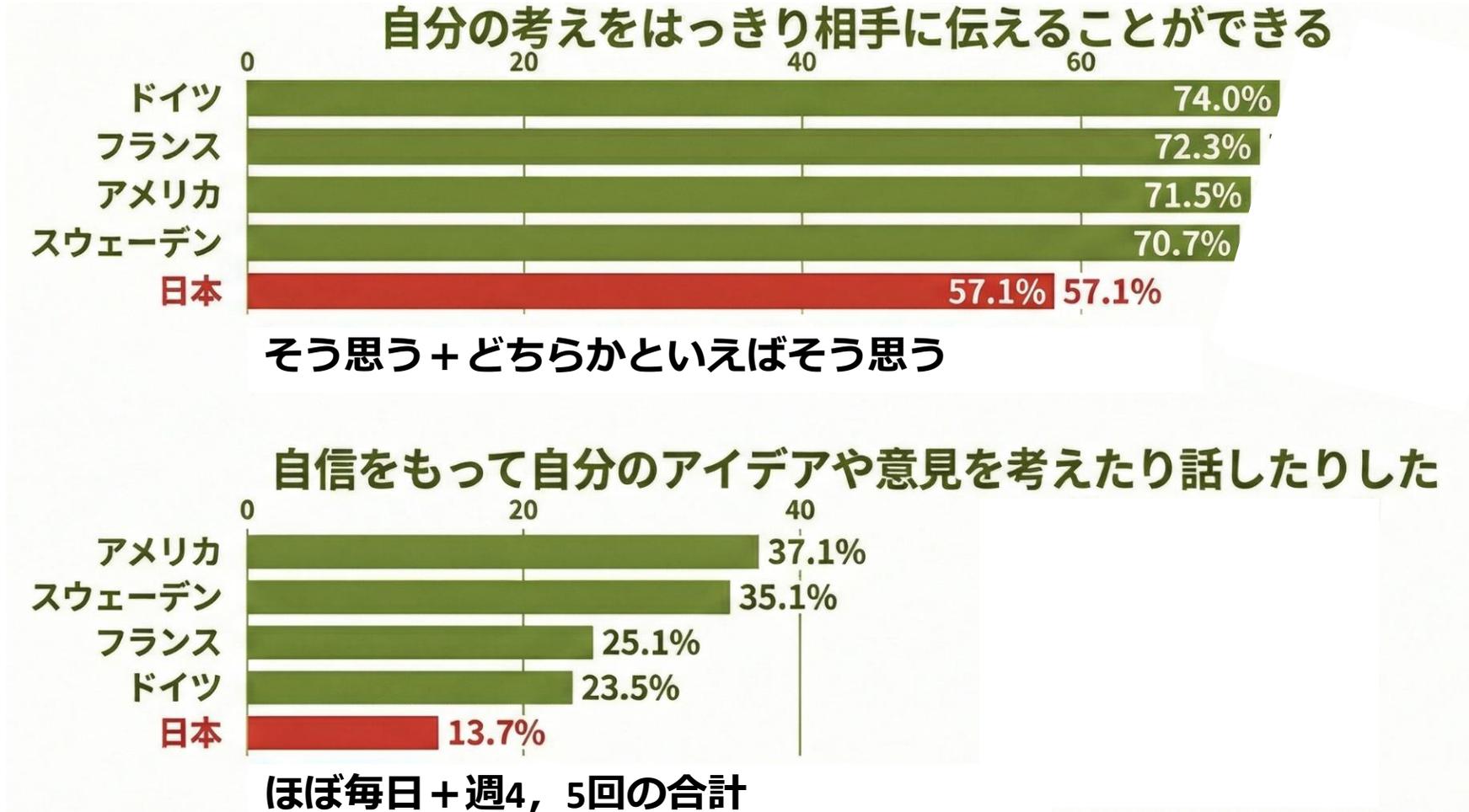
文部科学省『令和7年度国公立大学・短期大学入学者選抜実施状況の概要』より
アルバ・エデュ作成
www.mext.go.jp/content/20251126-mxt_daigakuc02-000045982_01.pdf

【高校】14都府県で自己表現



文部科学省『令和6年度 高等学校入学者選抜の改善等に関する状況調査（公立高等学校）
（令和8年2月17日更新版）』よりアルバ・エデュ作成
https://www.mext.go.jp/content/20250203-mxt_koukou01_000026790_1.pdf

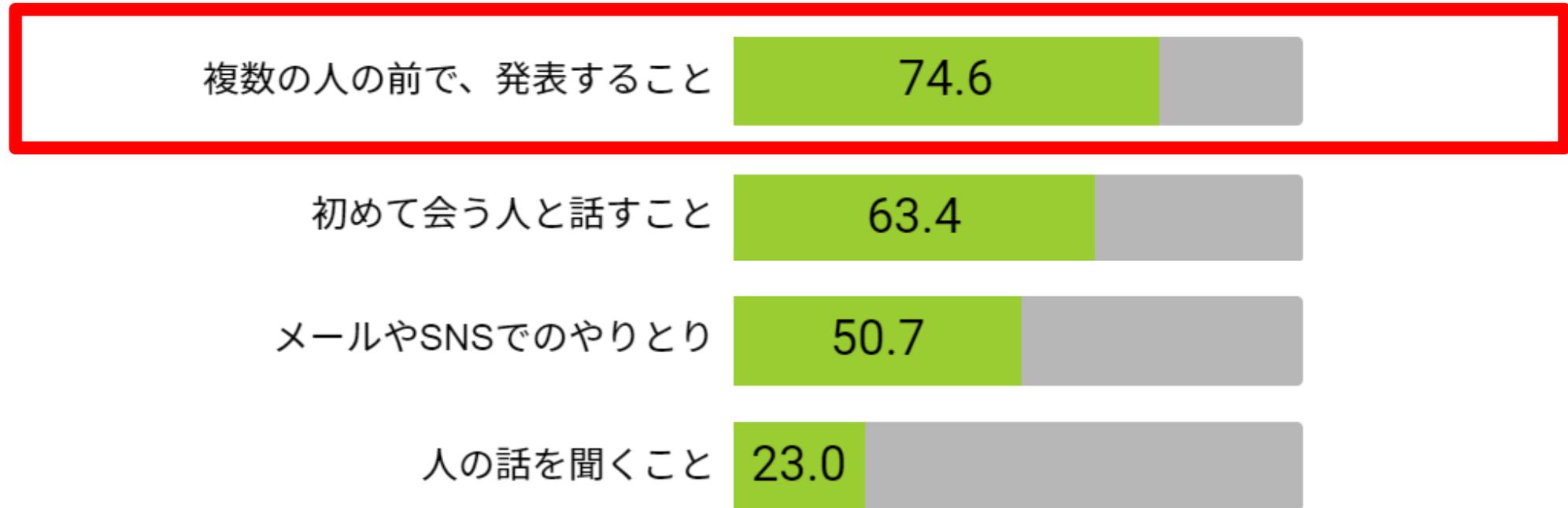
日本の若者は発信力に課題



外国語ワーキンググループ（第3回配布資料）『外国語の「目標」、「学びに向かう力・人間性等」について』よりアルバ・エデュ作成
www.mext.go.jp/content/20251117-mxt_kyoiku01-000045922_003.pdf （出典）こども家庭庁「我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査 報告書」（令和5年度）

コミュニケーションでの苦手意識

■ 苦手 ■ 得意



出典：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン調査「コミュニケーションへの苦手意識」/対象：国内の男女 18 歳以上の大学生・会社員・主婦・リタイア層 (n=2,060)
www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/assets/2018_195.pdf

「話す」ことへの苦手意識をカリキュラムで埋める必要



AGENDA

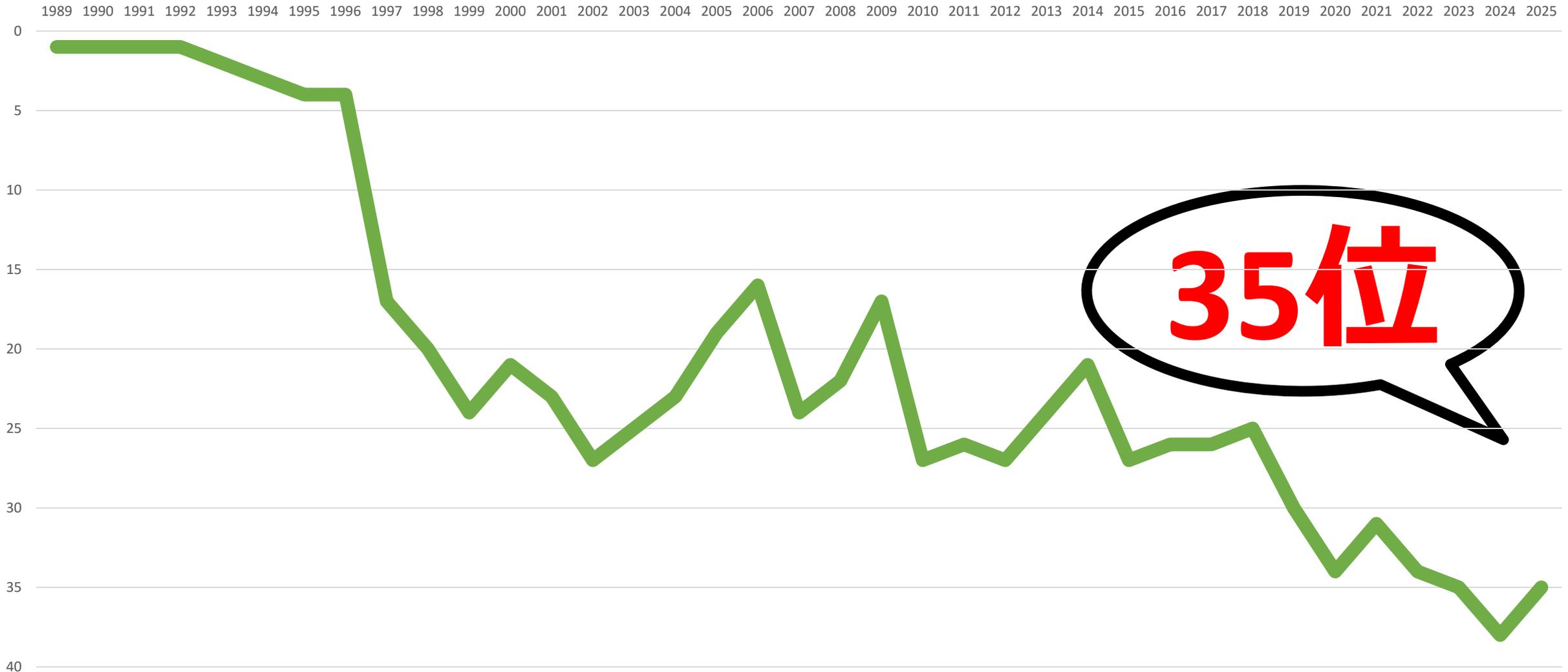
～本日の内容～

1. WHY なぜ「話す力」か Part2

2. WHAT 実践とつまづき

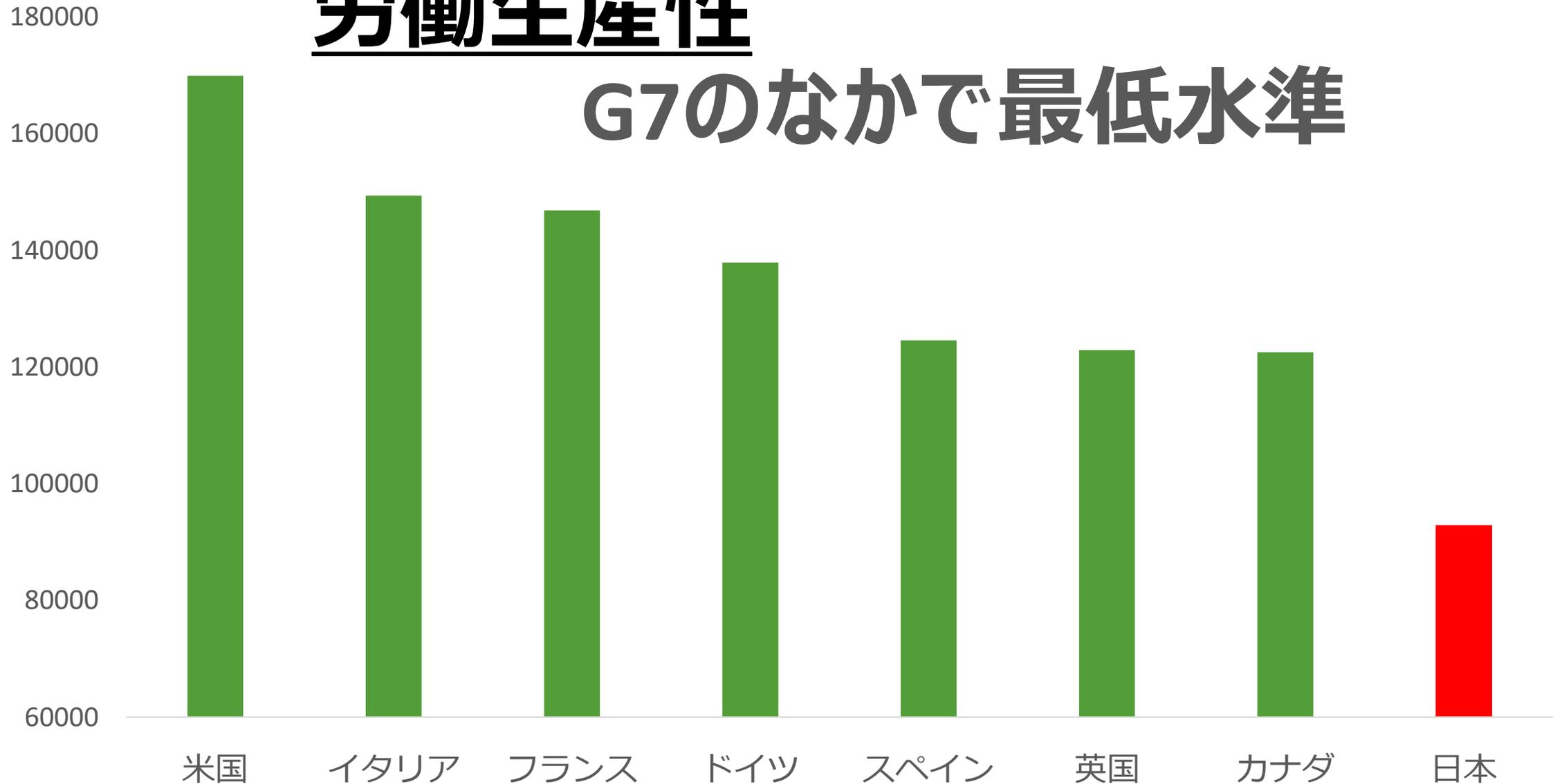
3. HOW 指導要領へ

国際競争力 ランキング



労働生産性

G7のなかで最低水準



OECD加盟諸国2023年 就業者1人あたり (USドル換算) <https://www.jpc-net.jp/research/assets/pdf/report2024.pdf> よりアルバ・エデュ作成

Alba Edu Inc. All rights reserved. 禁転載・禁複製

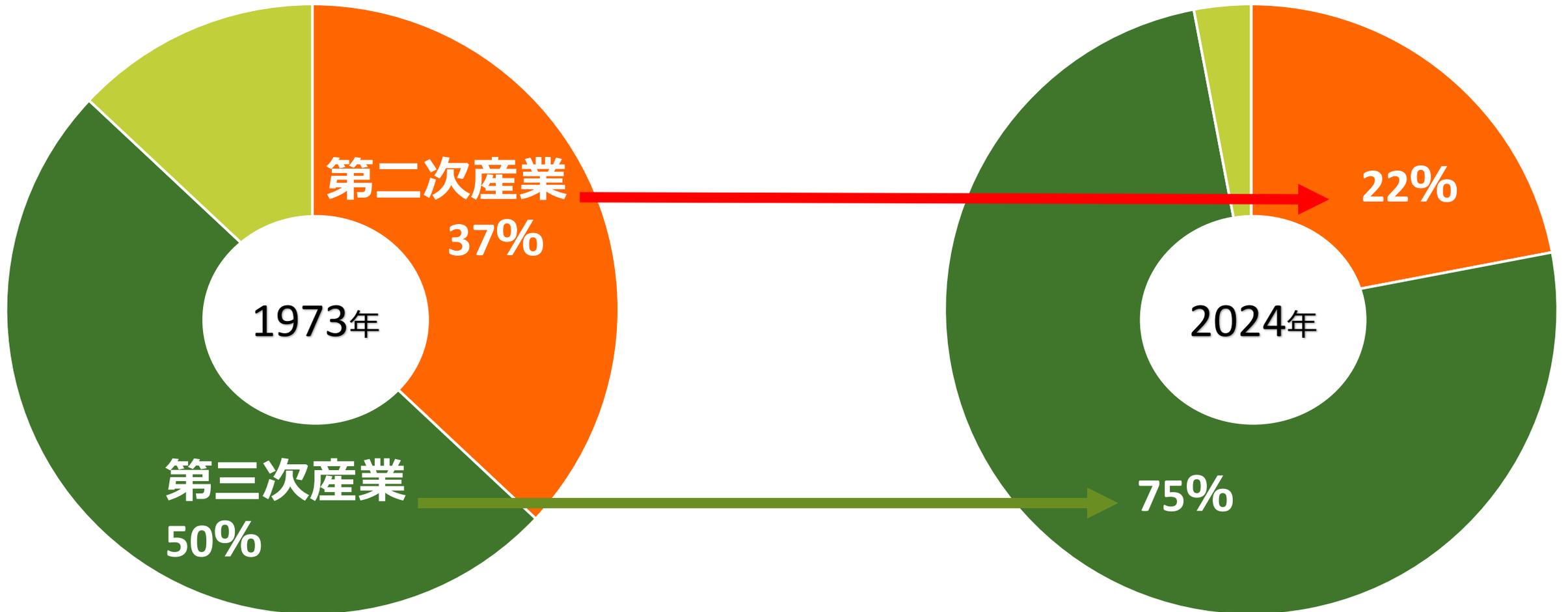
労働生産性とは

付加価値額

労働人数と時間



産業の変化



E-stat 『産業別就業者数』よりアルバ・エデュ作成
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200521&tstat=000001011777&cycle=0&tclass1=000001011807&tclass2val=0>

AIの時代の価値の源泉

誰がどのような**根拠**と**情熱**で語るか



信頼の基盤エートス



納得の源泉パトス



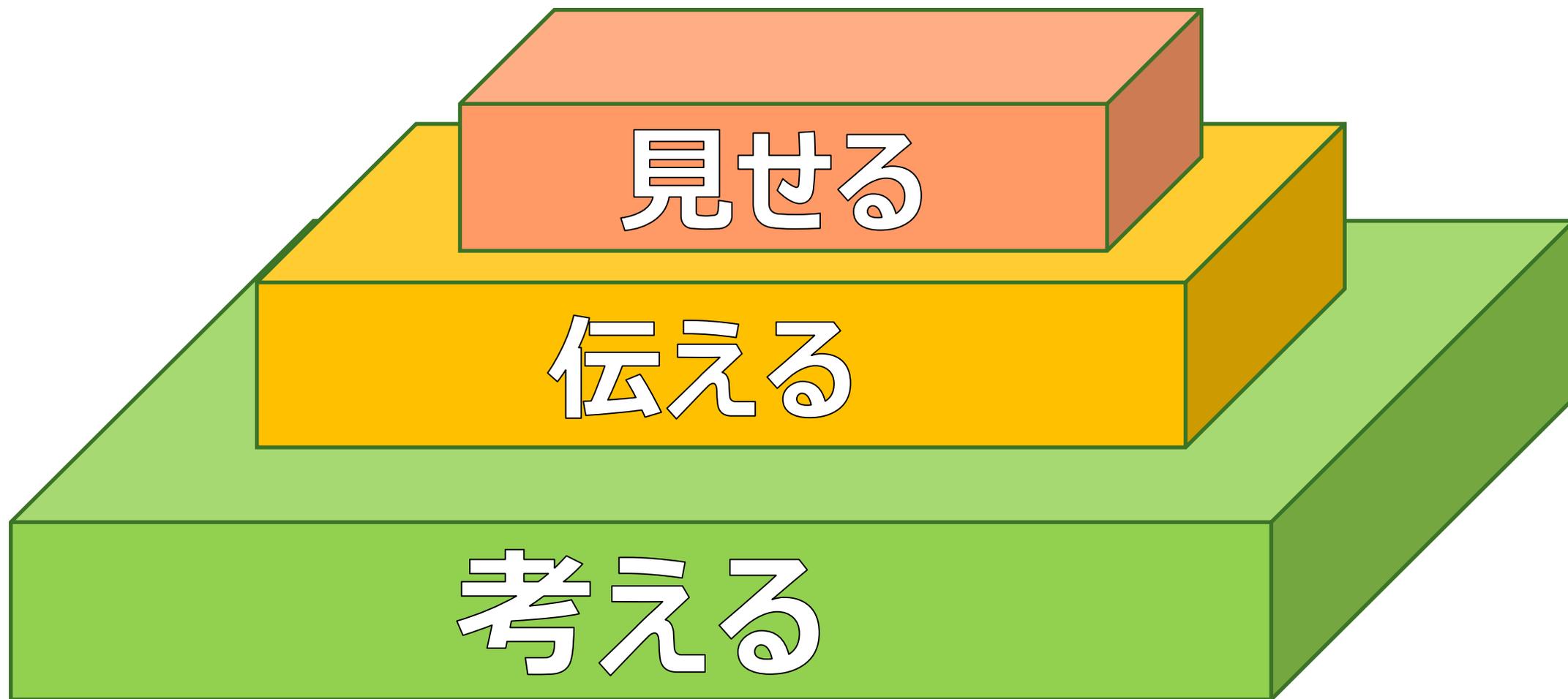
AGENDA

～本日の内容～

1. WHY なぜ「話す力」か

2. WHAT つまづきと実践の効果

3. HOW 指導要領へ



『考える』際につまづき

子ども：「調べたこと・一般論 = 意見」という誤解

意見が言えない（参考：外国語WGの資料）

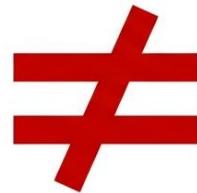
考えが整理できない

テーマ：主語が“自分”にならない

「多様でよい」で終わり 論点が立たない



ネットの事実・一般論



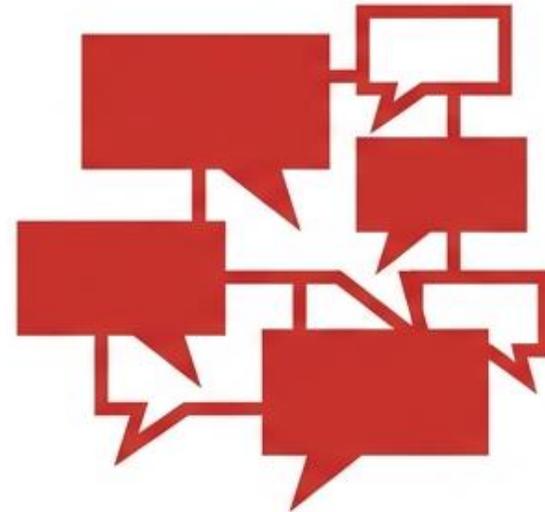
自分の意見

『伝える』際につまづき

目線が上がらず聞き手との対話がない「原稿の音読」

→即興での微修正が働かない

声の小さい子は「傾合いを見て拍手」 支援されない



作文の音読



『見せる』際のつまづき コピペ多し ⇔ 構造化・データ



消防士の役割

火を消すことだけでなく、人命救助も行う。人々が生活を営む以上、火災の危険性は常に考えておかななくてはなりません。

火災が発生し、勢いを増した火は

たちまち燃え広がり、多くの人の命や財産を奪うことにもつながってしまいます。

このような万が一の事態が発生した際に、即座に出動し、少しでも早く火を消すのが消防士です。

また、消防士が所属する消防組織では、火災時の出動以外にも災害時の人命救助や火災を起こさないための啓蒙活動などを行い、人々の貴重な生命や財産を守るために大きな役割を果たしています。

人々の命を救う仕事は世の中にいろいろありますが、消防士も、私たちが安全・安心に暮らしていくために欠かせない存在です。

<https://careergarden.jp/shouboushi/work/>

消防士のしごと

火をけす

人を
たすける

火事を
ふせぐ

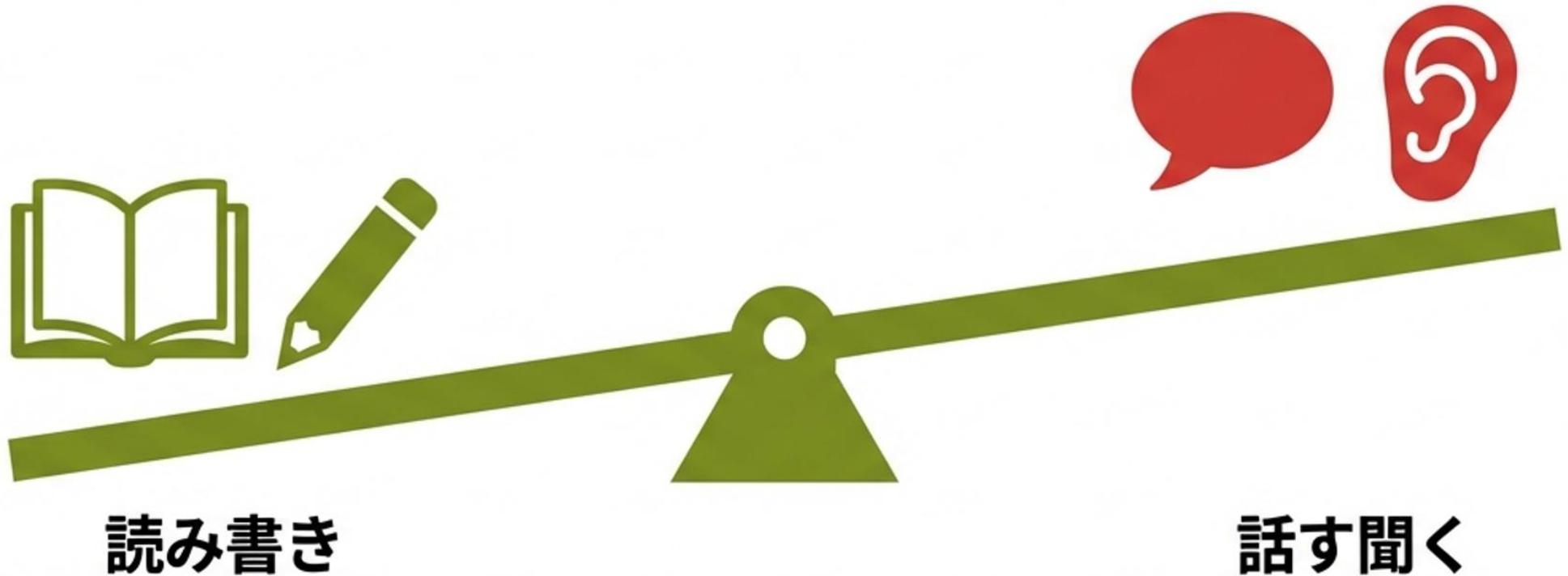
みんなの安全・安心を守る

出火原因ランキング

1位	電気関係
2位	たばこ
3位	放火

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/fs/syakujii/info/ss173.html>

背景にあるのは



「話す」カリキュラムの効果

ステップ1

社会との接続

社会への関与を目的としたプレゼン学習が学びの原動力を形成



ステップ2

動機づけの向上

自己効力感が高まり社会を変える
意欲が8ポイント向上



ステップ3

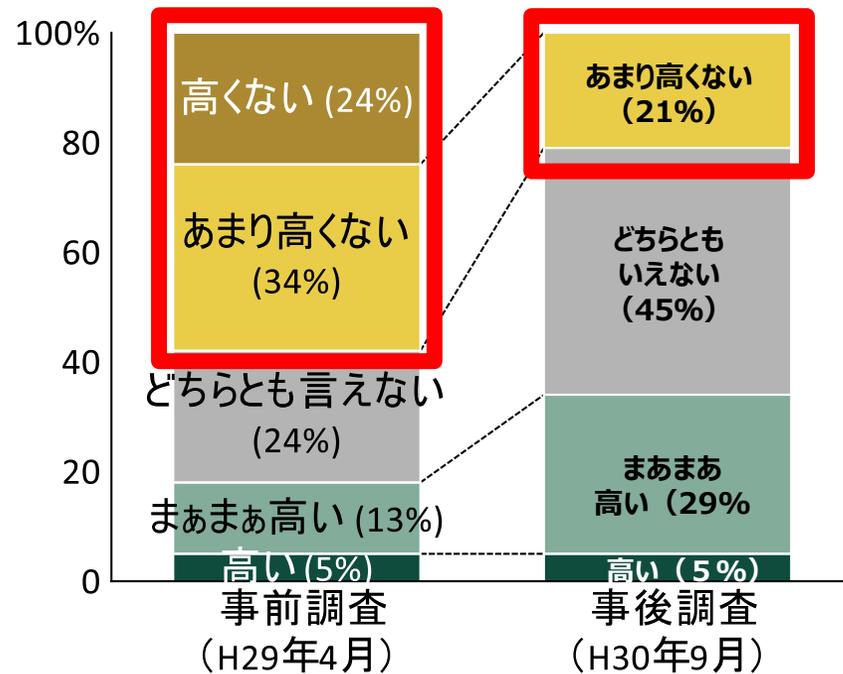
学力向上と進路の発見

推薦入試の合格率が12パーセント
から47パーセントへ上昇

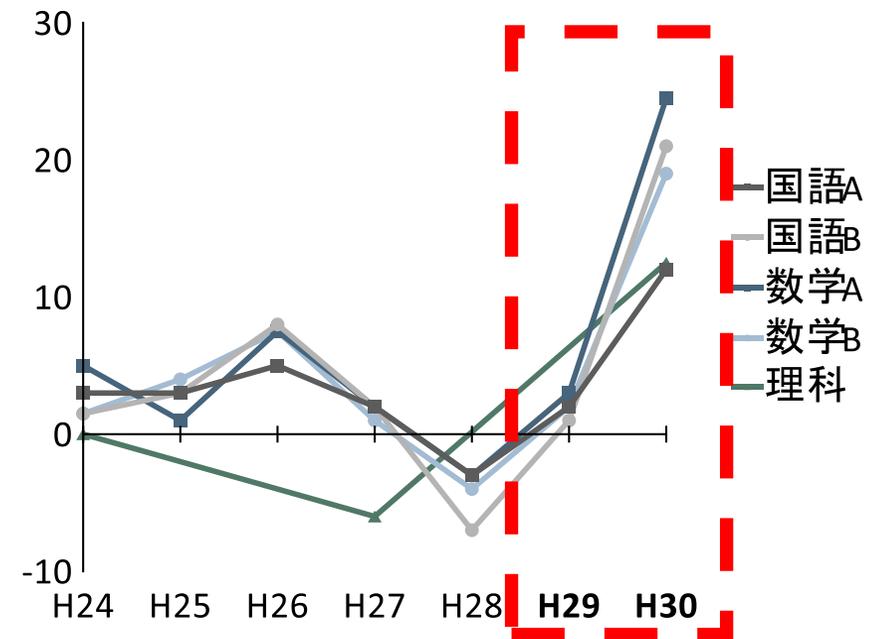


「学力」も向上！

プレゼンへの自信



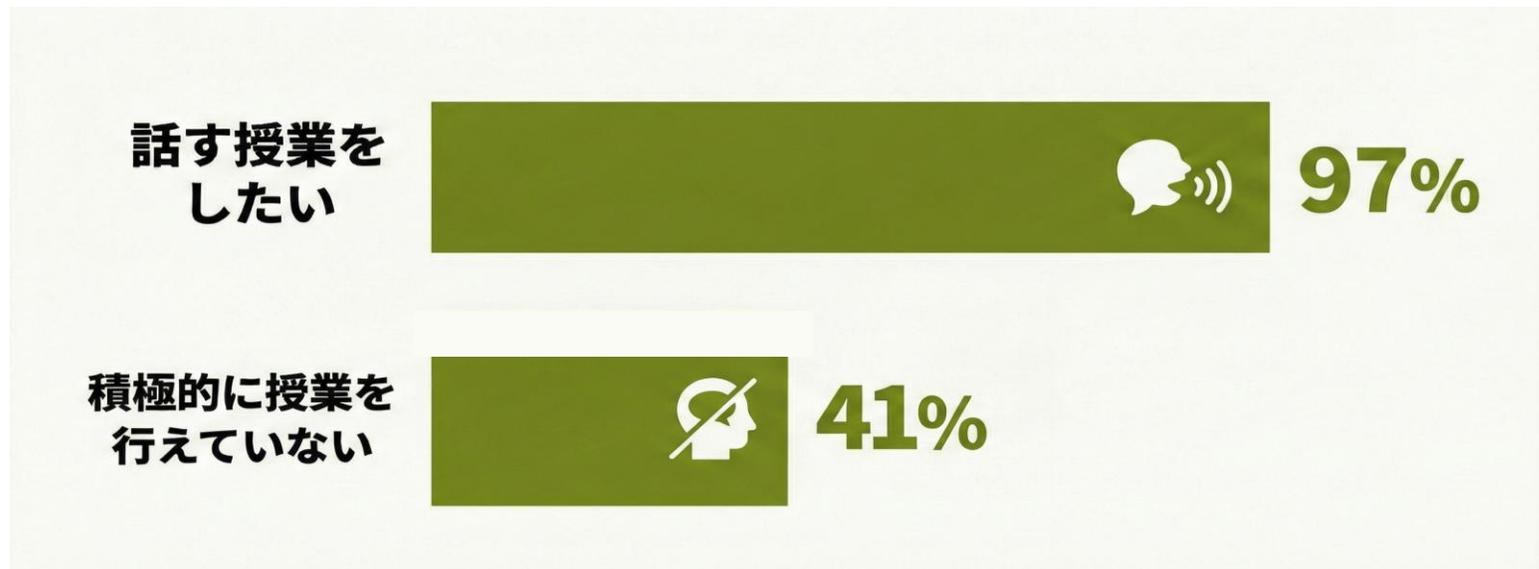
学力



出所：文京区文林中学校成果『研究紀要』
(先生方の日常の働きかけも寄与)

教員アンケート

アウトプット主体の授業をしたい
が積極的には行えていない



「教員研修終了後にアンケート」に関する実態調査 n=238 三菱UFJリサーチ&コンサルティング/アルバ・エデュ
<https://www.atpress.ne.jp/news/389938>

SPEAK



文部科学省 次世代の学校・教育現場を見据えた 採択
先端技術・教育データの利活用推進

9月3日「戸田市公立小学校」実証授業を開催します

alba edu.

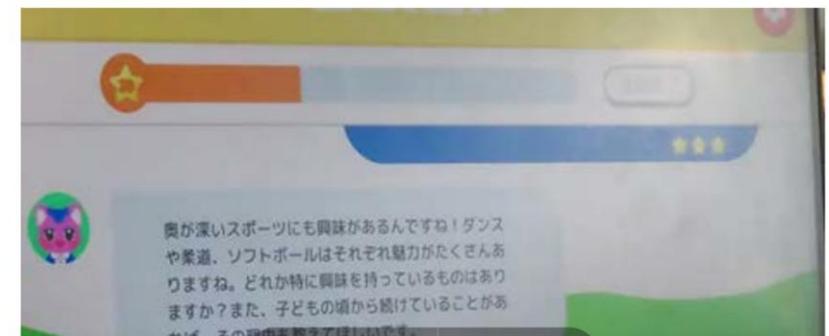
次期学習指導要領 働き方改革 教員不足 部活動改革 個別最適な学び 探究学習

ICTとDX · 2025-11-05

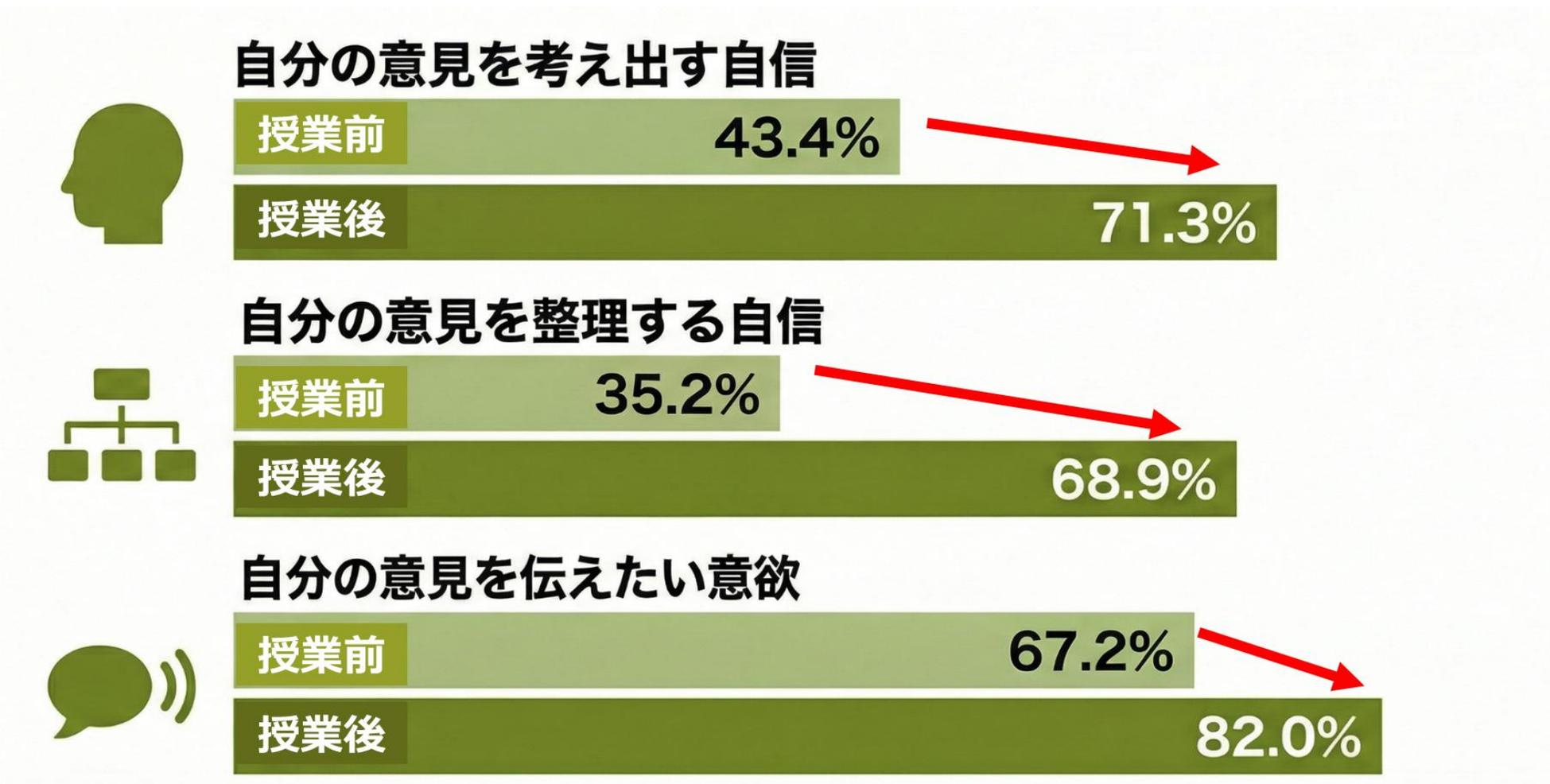
生成AI使ったアプリで話す力を育成 東京都文京区が初導入

藤井 孝良 教育新聞 報道記者

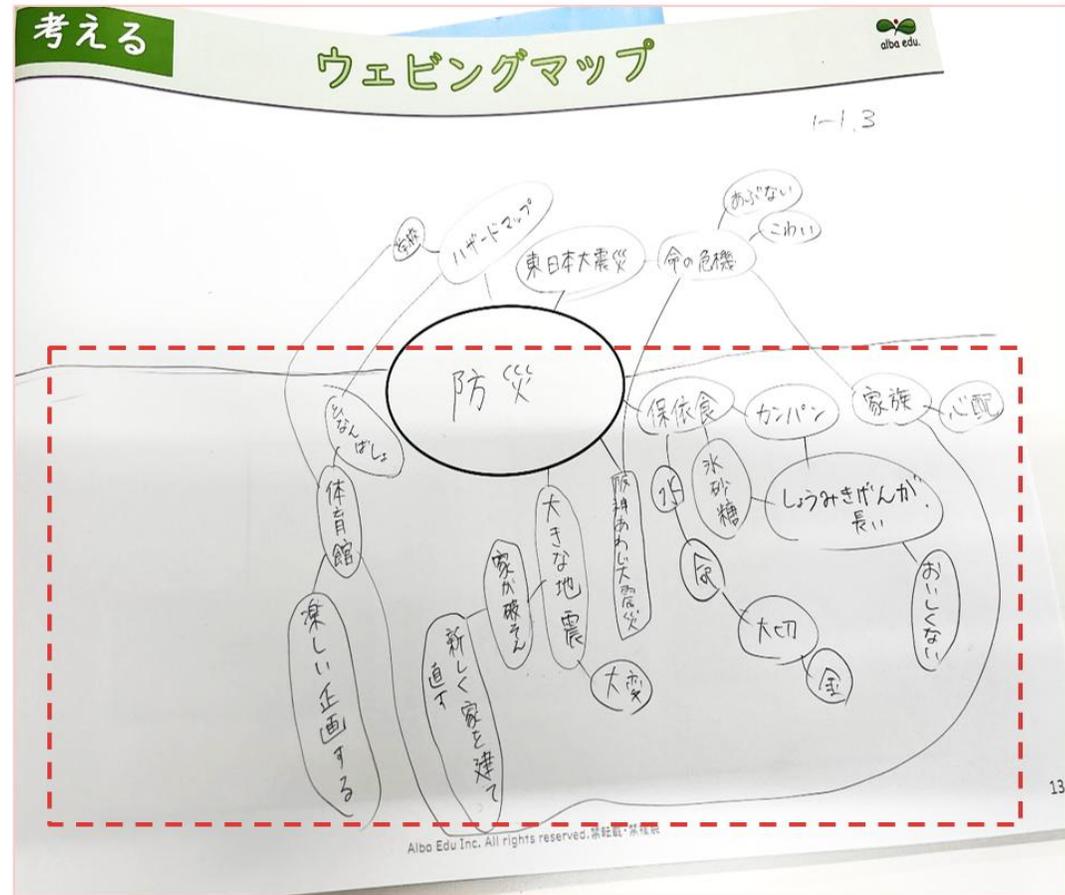
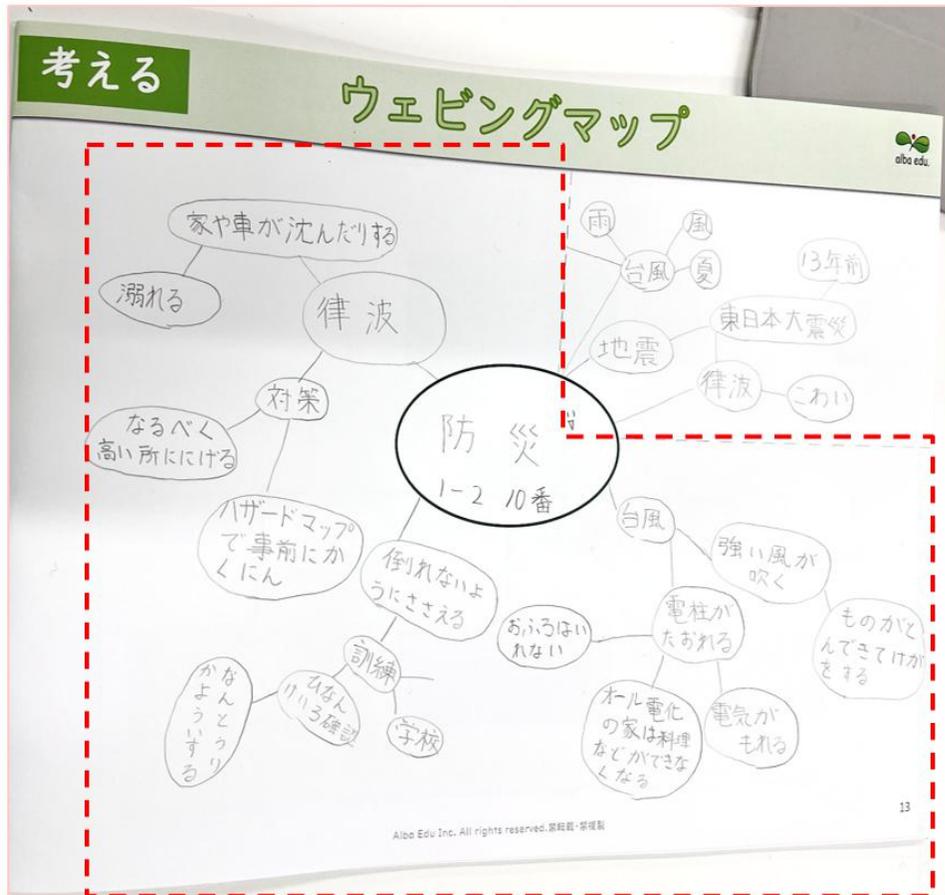
この記事シェアする



意見の発話への意識の変化



2025年2月 第3回「話す力を育成する官民合同シンポジウム」三菱UFJリサーチ&コンサルティング社資料より
宇都宮短期大学附属中学校1~3年 n=122人 調査期間2024年6月~7月



アプリ使用後に記入した内容

AGENDA

～本日の内容～

1. WHY なぜ「話す力」か

2. WHAT つまづきと実践の効果

3. HOW 指導要領へ

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた

補足イメージ1-②

自らの人生を舵取りする力 と 民主的で持続可能な社会の創り手 育成 (今後の検討イメージ)

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)

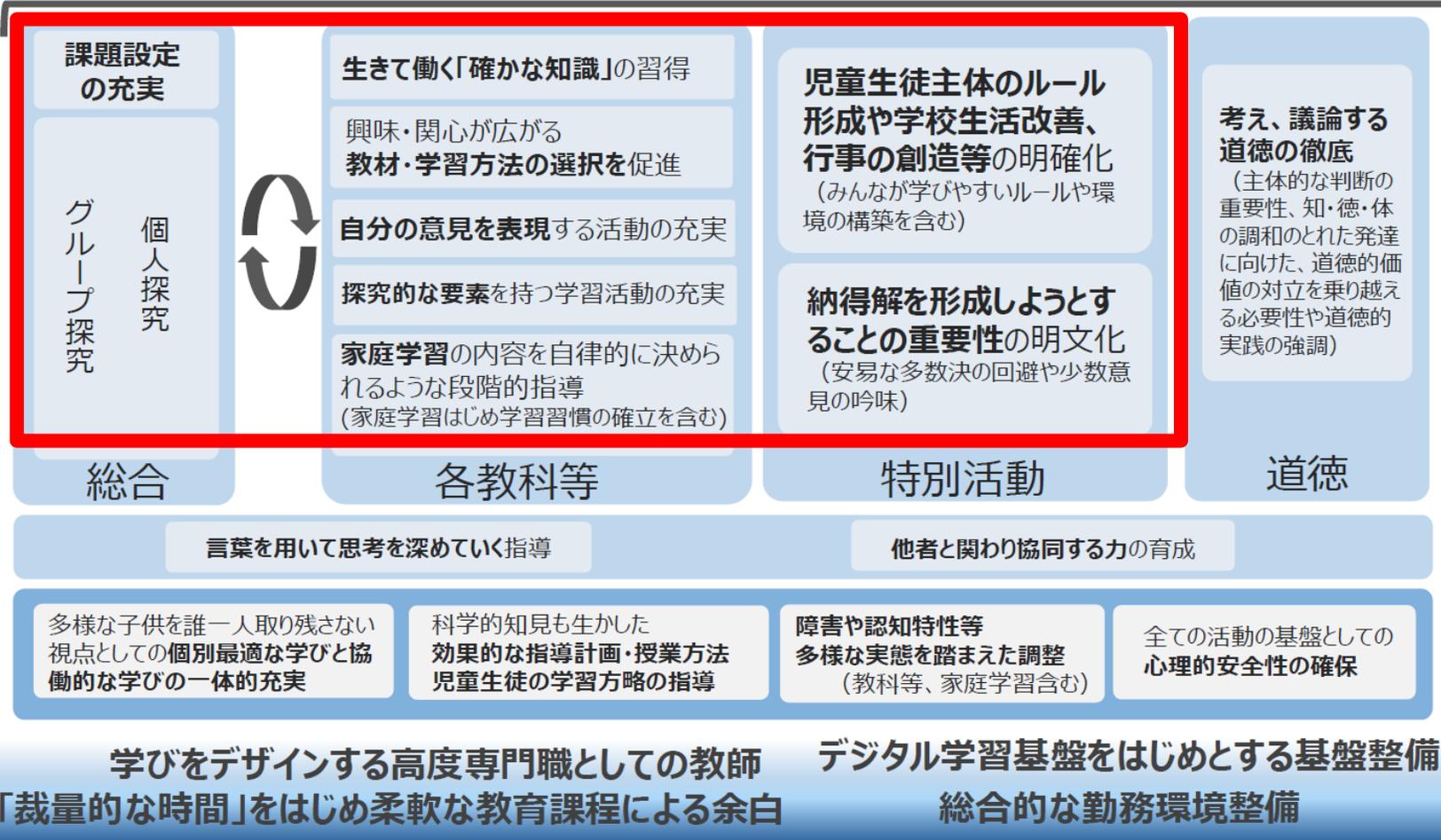
×

**当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる**

【各教科等での検討イメージ】

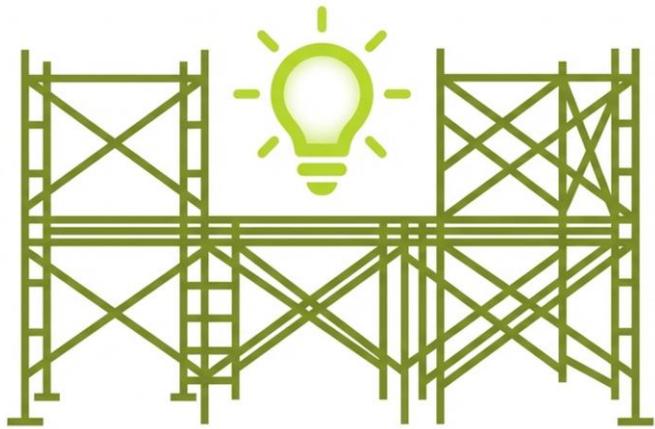
好き・得意をベースとした
主体的な進路選択の促進

高
中
小
幼



※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今後の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

学習指導要領へ



知識・技能 思考・判断・表現

語彙・文章構造・言語文化の獲得

情報の吟味・整理・選択 →表現
考える（広げて・深めて・選ぶ） →伝える→見せる

1. つまづきを解消し 一体として育む



話す領域を二系統へ { やり取り
発表に区分

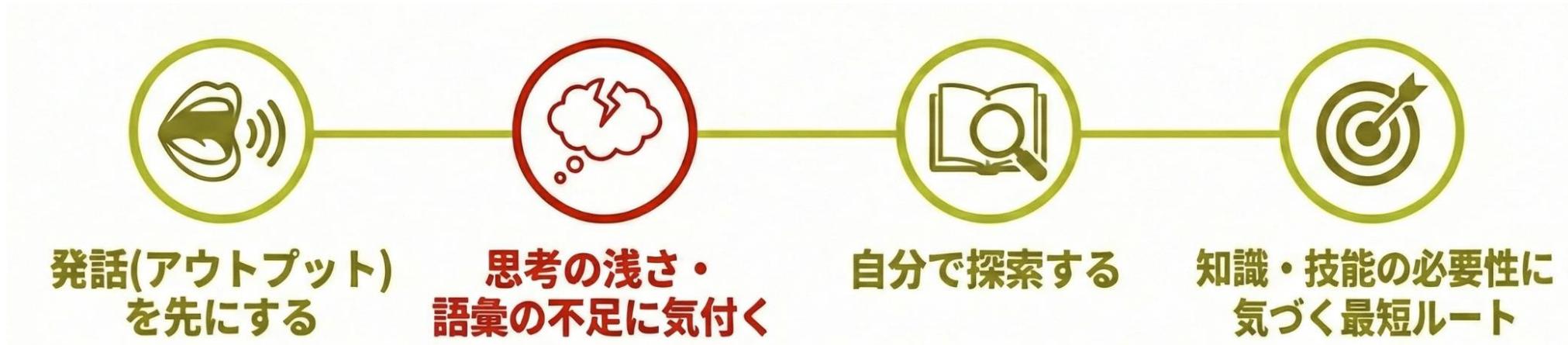
主語 “自分”
主体性
論点を立てる

聞き手を見て発声
構造化して見せる

2 他教科等との接続と補完



3 インプットとアウトプットのバランス + 順序の考慮



4 社会との接続

教育実践研究論文

日本教育工学会論文誌 48(3), 523-532, 2024

社会への関与を志向したプレゼンテーション授業が
学習者の動機づけに与える影響†

小野田亮介*1・蝦 真理子*2・竹内明日香*2
山梨大学*1・一般社団法人アルパ・エデュ*2

本研究では、プレゼンテーションを通して社会に関与することの意義を伝え、その上でプレゼンテーションの方法を教示する「社会への関与を志向したプレゼンテーション授業」を実践した。実践1では、小学5、6年生と中学1年生の計184名を対象として、社会への関与とプレゼンテーションの価値伝達を主たる目的とする授業を行い、社会への関与態度とプレゼンテーションに対する価値評価、および成功期待が向上する傾向を確認した。実践2では、中学1年生99名に対して実践1と同じ授業を実施した上で、「質の高いプレゼンテーション」の方法について指導する授業を行った。その結果、授業を通じた社会への関与態度の変化と、プレゼンテーションに対する成功期待の変化との間に共変的関係が認められ、授業を通して社会への関与を促すことが、プレゼンテーションに対する動機づけ支援としても効果を有する可能性が示された。

キーワード：プレゼンテーション、社会への関与、動機づけ、期待、課題価値

小学校

中学校

高等学校

日常生活

社会生活

→子どもの「好き」や「思い」が駆動

日本教育工学会論文誌 (2024) 小野田・蝦・竹内

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjet/48/3/48_47132/_pdf/-char/ja

Alpa Edu Inc. All rights reserved. 禁転載 禁複製

5 評価ではなく『見取り』による伴走を

「好き」や「思い」の熱量 ≠ 点数化



→評価（採点）で子どもを縛らず
論点・根拠・構成・情報の扱いを**見取り**
表現のプロセスを**支援**するパラダイムへ



**AI時代において
情報に流されず
納得解を形成できる**

民主主義の担い手を育成する

話すカリキュラム

世の中は 変えられる そのために **プレゼン**がある



<参考情報>

初等から社会参加・公共性の言及がある例

例：UK初等英語で「社会の一員として参加するために言語技能が不可欠」

例：シンガポール 英語シラバス（ELS 2020）で「社会的場面」「協働」「多文化」

例：フィンランド 国のコア・カリキュラムで「参与・民主主義」を明示

<参考文献>

小野田亮介・蝦真理子・竹内明日香（2024）「社会への関与を志向したプレゼンテーション授業が学習者の動機づけに与える影響」
日本教育工学会（『日本教育工学会論文誌』）

竹内明日香（2022）『すべての子どもに「話す力」を——1人ひとりの未来をひらく「イイタイコト」のを見つけ方』英治出版

竹内明日香（2024）『話す力で未来をつくる』WAVE出版

竹内明日香（監修）（2023）『99%の小学生は気づいていない！？ 思いを伝える「話す力」』Z会

小野田亮介・大澤和仁（2023）「受け手に合わせたプレゼンテーションを促す相互フィードバック方法の検討」日本教育心理学会（『教育心理学研究』）

増田信一（1994）『音声言語教育実践史研究』学芸図書

山元悦子（1996）「対話能力の発達に関する研究—対話展開力を中心に」全国大学国語教育学会（『国語科教育』）

山元悦子（1990）「大村はま話しことば学習指導実践の考察—昭和20年代における実践の位置と意義」中国四国教育学会（『教育学研究紀要（第2部）第36巻』）

多田孝志（2018）『対話型授業の理論と実践—深い思考を生起させる12の要件』教育出版

長田友紀（2016）『国語教育における話し合い指導の研究』風間書房

若木常佳（2011）『話す・聞く能力育成に関する国語科学習指導の研究』風間書房

若木常佳（2001）『話し合う力を育てる授業の実際』溪水社

森久保安美（1997）『話しことば教育の実際』東洋館出版社

大村はま（1983）『大村はま国語教室 2——聞くこと・話すことの指導の実際』筑摩書房

府川源一郎（2024）『国語教科書の近代史』大修館書店

二宮皓（監修）（2010）『こんなに違う！世界の国語教科書』KADOKAWA（メディアファクトリー）

Skolverkets förslag till förändringar - Nationella it-strategier (SWE) 2016

The Higher General Education Programme - stx (DEN) 2024

National curriculum in England: English programmes of study (UK) 2013

ELIS Classroom Talk, Dialogic Teaching and Inquiry Through Dialogue (SNG) 2023

National Core Curriculum (FIN) 2014

Common Core State Standards (US) 2010

